

(四倉地区まちづくり検討会)  
第2回ワーキンググループ会議 (4 KuLabo①)  
要旨

■ 4 KuLabo①

交流・防災拠点づくり検討ワーキンググループ会議

■ 日 時

令和4年5月18日(水) 18:00~19:10

■ 場 所

四倉町商工会館 大会議室



■ 会議の流れ

- 1 開会
- 2 挨拶 (都市計画課長)
- 3 議事
  - 市街地再生整備基本方針に基づく施策の検討について  
(1)交流・防災拠点等について、(2)道路空間について (次回WGで意見交換)
    - ・別紙「説明資料」に基づき、各事務局がWGの役割や今後の進め方、施策案のたたき台などを説明し、その後、意見交換が行われました。
- 4 その他
  - ・次回のWGについて事務局より説明がありました。
- 5 閉会

■ 意見交換の概要(要旨) ○: 関係団体委員 ⇒: 事務局・行政委員

- 学校の保護者に聞き取りを行った結果、小中学校が一緒になれば送り迎えが楽になるとの意見や、小中学校と一緒に就学前の子供を預けられる場所や習い事までできる施設があれば、幼稚園から中学校まで安心して預けて住みやすい街になるとの意見がありました。

また、小学校・中学校・公民館などの施設を別々に造るのではなく、折角であれば施設を集約して機能が重複しないよう、また沢山の方が利用できる施設にするのが良いとの意見もありました。

プールも屋外に小中学校各々で建てるのではなく、週末は希望する方が利用できるような屋内プールとして、僅かながらの使用料でも取れば収益にもなると思うとの意見もありました。

施設配置について、たたき台では敷地の中央に配置されているが、敷地の境界側に配置し、中央に共有のグラウンド・広場などまとまった空間を確保することで、災害の時には駐車場の代わりとして使えるようにすれば使いやすいのではとの意見もありました。

- ⇒ 本日もいただいた意見についても、今後の基本計画策定に向け参考にさせていただきたいと思います。また、地域の方々と共有して使える施設づくりを検討していきたいと思います。

- 小中学校の先生方からは、小中学校は同じ施設であっても機能は別々にして欲しいとの意見がありました。
- 施設配置について、仮に民間収益施設に習い事などの施設が導入された場合、小中学生が学校と民間収益施設とを行き来することが考えられ、今の配置では問題があると思います。郊外の商業施設のように駐車場内や道路上を子供が行き来することとなり、大変危険なため、広場とか緑地などの空間で繋げて、自由に行き来できる配置にしてはどうかと思います。駐車場の位置についても、北側の道路沿いに配置することで、民間収益施設にとっても稼ぎやすい施設になると思います。  
⇒ 現在、“車道”のように記載されておりますが、車道でなくとも建築基準法上、建物が建てられる道路であれば問題ないため、使い方の工夫なども考えていきたいと思っております。
- 高齢化や人口減少など四倉町の今後を考えると、幼稚園児や小中学生、公民館を利用する方など、異なる年代の方が一つの空間の中で触れ合えることが重要ではないかと思っております。
- 行き来が容易にできるような施設配置がいいのではとの意見がありましたが、不審者なども自由に入ることができてしまうため、安全面についても考えた方が良くと思います。  
⇒ 注意点として本基本計画の中で検討していきたいと思っております。
- ⇒ 民間施設敷地には、どのような機能・施設があれば望ましいと考えられますか？
- 子供塾、農産物の直売所、スーパーがいいのではないかと思います。
- 建物自体が何階建てになるのか決まっているのか教えて欲しい。また、高齢者のためにエレベーターなどは付けていただきたいと思っております。  
⇒ どのぐらいの施設規模になるかという諸室の大きさぐらいまでの粗検討として、例えば文化施設として貸会議室で約 600 m<sup>2</sup>弱と、現在の施設規模や使用状況などから試算している状況であり、階数までは決めていないものであります。今後皆様とお話を重ねながら検討を深めていきたいと思っております。
- あらゆる世代が使えるコミュニティ施設・公民館が必要であると思っております。また、駅西側は今後、新しい人の流れが生まれてくると思っておりますので、道路の整備も必要になると思っております。